



イベント 終了しました

『万葉集』における歌の「発見」 一二十巻のテキストが あらしめたもの

キーワード	日比谷カレッジ
内容	これまで『万葉集』とは、まず歌があり、それが集められ、構成されたものと考えられていました。しかし、『万葉集』が二十巻で構築したものが、歌の世界をあらしめたのです。自分たちの固有の歌はここではじめて見出されたという視点から、『万葉集』を全体としてとらえることに向かいます。
日にち	2016年05月18日（水） 19:00から20:30
日にち説明	18：30 開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	1,000円
講師・出演者	神野志隆光

プロフィール	<p>■ 神野志 隆光（こうのし たかみつ） 1946 年和歌山県生まれ。 東京大学大学院博士課程中退。東京大学総合文化研究科教授を経て、現在東京大学名誉教授。博士（文学）。著書に、『古事記と日本書紀』（講談社現代新書、1999 年）『万葉集をどう読むか—歌の「発見」と漢字世界』（東京大学出版会、2013 年）など。</p>
--------	---

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2016年03月20日 10:00 から2016年05月18日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2016年 05月						
	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

発信日	2016.03.20
-----	------------

[ツイート](#)